

指定管理者が行う公の施設の管理状況報告(令和6年度分)

<県の評価等>

施設所管部名 地域連携・交通部

1 指定管理者の概要等

施設の名称及び所在	ドリームオーシャンスタジアム（松阪市立野町1370番地）
指定管理者の名称等	公益財団法人三重県スポーツ協会 理事長 木平 芳定（鈴鹿市御園町1669番地）
指定の期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
指定管理者が行う管理業務の内容	① 施設等の利用の許可等に関する業務 ② 利用料金の收受等に関する業務 ③ 施設等の維持管理及び修繕に関する業務 ④ 野球場の管理上必要と認める業務

2 施設設置者としての県の評価

※指定管理者が変わった場合、前年度の評価は斜線を記入しています。

評価の項目	指定管理者の自己評価		県の評価		コメント
	R5	R6	R5	R6	
1 管理業務の実施状況	B	B			利用者が施設を安全に利用できるよう、公園管理者である松阪市中部台管理事務所と連携を取り、適切な管理業務を行っている。 大会の円滑な開催と一般開放を可能な限り行えるよう、事前に利用競技団体と調整を行い、利便性の向上に努めている。 日常的な施設・設備の点検や、不陸修正工事、内外野グラウンド整備等を行い、良好な環境づくりに努めている。 「差別を解消し、人権が尊重される三重をつくる条例」に基づき、不当な差別やその他人権侵害行為が行われないように努めている。
2 施設の利用状況	B	B			年間利用者数は、33,037人(対前年度比719人増)、利用回数は135回(対前年度比7回増)であった。 大会の円滑な運営を支援するため、利用時間の前倒しや、日没まで延長するなど、利用者の要望に沿った対応で、利便性の向上を図った。
3 成果目標及びその実績	B	B			年間利用者数について、天候不良や猛暑の影響により目標39,100人に対して33,037人と、目標を達成できなかった。 平日のグラウンド空き状況について、中学・高校・大学の野球部に連絡を取るなど、利用者数増加に取り組んだことで、令和5年度の利用者数を上回った。

※「評価の項目」の県の評価
：

「+」(プラス) → 指定管理者の自己評価に比べて高く評価する。
「-」(マイナス) → 指定管理者の自己評価に比べて低く評価する。
「 」(空白) → 指定管理者の自己評価と概ね同じ評価とする。

総括的な評価	<p>・競技団体等との年間利用調整業務、利用許可や料金收受業務、施設の維持管理及び修繕に関する業務を適切に実施している。</p> <p>・円滑な大会運営を行うための特別開場や営業時間の拡大、良好なグラウンド状態を維持するための不陸修正工事や内外野グラウンド整備等を実施するなど、利用環境の向上に努めている。</p> <p>・年間利用者数について、天候不良によるキャンセルや熱中症予防により夏季期間の利用が減少したことから、目標を達成できなかったものの、平日利用の促進など利用者増加に努めており、令和5年度と比べて年間利用者数・利用回数ともに増加した。</p> <p>・土日祝日は大会での利用が集中していることから、平日の利用について、引き続き広報活動など利用促進のための取組を行う必要がある。</p> <p>総合的に見て、適切な指定管理業務をしており、指定管理者の自己評価は妥当と思われる。</p>
--------	---

<指定管理者の評価・報告書(令和6年度分)>

指定管理者の名称: 公益財団法人三重県スポーツ協会

1 管理業務の実施状況及び利用状況

(1) 管理業務の実施状況

① 管理運営事業の実施に関する業務

- ア 当球場の設置目的を果たすため、施設の有効利用のほか、積極的な対応と接遇を行い、公正で公平な利用に努めた。また、大会の円滑で速やかな運営を支援するため、大会開催時の利用時間の拡大など、可能な限り利用者の要望に沿った対応を行った。
- イ 松阪市中部台運動公園内に設置されていることから、円滑な施設運営を行うため、松阪市中部台管理事務所と連携し、公園全体の課題や日常業務の諸問題について、情報を共有し、安全な施設運営に取り組んだ。
- ウ 施設利用者から寄せられた意見について、対応できるものについては速やかに対処し、施設改修等、指定管理者で対応できない部分については、修繕の要望として県へ報告した。

② 施設及び設備の維持管理及び修繕に関する業務

- ア 日常的に始業前点検・設備品点検を行い、異常箇所の発見に努めた。
- イ 良好なグラウンド状態を保つため、不陸修正工事、レイキ車を用いた内外野グラウンド整備や目土散布などを実施した。

③ 県施策への配慮に関する業務

- ア 三重県営松阪野球場基本協定書第6条に基づき、場内の環境美化に努め、施設利用団体へはゴミの持ち帰りを徹底するとともに、リサイクルに向けた取組として分別回収を行った。また、野球場敷地内での受動喫煙防止の対策強化に努めた。
- イ 「差別を解消し、人権が尊重される三重をつくる条例」に基づき、不当な差別やその他人権侵害行為を行わないよう努めた。

④ 情報公開・個人情報保護に関する業務

- ア 情報公開については、公益財団法人三重県スポーツ協会情報公開実施要領に基づき対応している。なお、令和6年度における開示請求はなかった。
- イ 個人情報については、公益財団法人三重県スポーツ協会個人情報保護実施要領に基づき個人情報を取り扱っている。また、個人情報保護方針をホームページに掲載し、個人情報の取扱いについて明示している。施設顧客名簿等の個人情報が記載された文書や電子データが外部へ漏洩しないよう、職員一同で厳重に注意し、取り扱っている。

⑤ その他の業務

特になし

(2) 施設の利用状況

目標 39,100人/年間
利用実績 33,037人 達成率 84.5%

2 利用料金の収入の実績

令和6年度収入実績 1,928,250円

3 管理業務に関する経費の収支状況

(単位:円)

収入の部			支出の部		
	R5	R6		R5	R6
指定管理料	21,090,527	21,566,573	事業費	286,628	200,309
利用料金収入	1,948,570	1,928,250	管理費	22,240,823	22,175,568
その他の収入	0	37,710	その他の支出	0	0
合計 (a)	23,039,097	23,532,533	合計 (b)	22,527,451	22,375,877
収支差額 (a)-(b)	511,646	1,156,656			

※指定管理者が変わった場合、前年度の収支状況には斜線を記入しています。

※参考

利用料金減免額	60,100
---------	--------

4 成果目標とその実績

成果目標	39,100人/年間
成果目標に対する実績	利用者実績 33,037人 達成率 84.5%
今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none">・年間を通じて平日利用が極めて少ないことから、平日の稼働を上げるために、近隣中学校を対象に使用料金や利用時間の便宜を図りつつ、課外活動の一環としての利用を引き続き呼びかけていく。また、今後は大学生、社会人への平日利用の呼びかけ方法についても、さらに検討を進めていく。・近隣の幼稚園・小学校・特別支援学校に対して利用の呼びかけを行い、スポーツ以外での利用促進に取り組む。・主催事業及び施設の有効利用について、他団体と連携し、野球の普及活動として野球教室等の充実を図りたい。・施設の日常点検及び補修を継続して適宜行うことで、安全性の確保に取り組む。

5 管理業務に関する自己評価

※指定管理者が変わった場合、前年度の評価は斜線を記入しています。

評価の項目	評価		コメント
	R5	R6	
1 管理業務の実施状況	B	B	・グラウンドコンディション確保のため、6月と2月に不陸修正を行った。また、老朽化したライト側外野後方フェンスの交換を行った。 ・大会の円滑な開催・運営を支援するとともに、一般開放を可能な限り行えるよう、事前に各団体代表による利用調整会議を行い、次年度のグラウンド利用調整を図った。 ・利用者満足度調査の実施等、日頃から利用者の意見を聞き取る体制を確保し、実施可能なものについては速やかに対応した。 ・当施設は、松阪市中部台運動公園内に設置されていることから、松阪市中部台管理事務所と連携を取り、公園全体の課題や日常業務について諸問題を共有することで、利用者が安全に施設を使用できるよう努めた。特に、駐車場について運動公園利用者の迷惑にならないよう注意を呼びかけた。また、受動喫煙防止についての対策を強化した。 ・当球場ホームページにて、予約状況を確認した上での予約申込を可能としている。 ・問合せ等に対して施設の利用を積極的に呼びかけた。また、開催された大会の紹介など、当球場の利用に関してのPRに努めた。 ・ドリームオーシャンスタジアム・フェスティバル2024を2日間開催し、野球以外でも家族で参加できるスポーツレクリエーションのイベントを開催した。 ・中学、高校及び大学の長期休暇中の平日利用について、各校野球部にグラウンドの空き状況についての連絡を行い、利用者数増加を図った。
2 施設の利用状況	B	B	・各利用団体による利用調整会議で、次年度の土日及び祝日は各大会で年間スケジュールがほぼ決定してしまうことから、平日利用への取組として、学校の長期休暇期間中、近隣の中学校へ放課後の課外活動での利用を呼びかけた。 ・大会の円滑な運営を支援するため、利用時間を前倒し、あるいは日没まで時間を延長するなど、可能な限り利用者の要望に沿った対応を行い利便性の向上を図った。 ・良好なグラウンド状態を保つため、職員による日常の整備を実施した。
3 成果目標及びその実績	B	B	・年間利用者数について目標39,100人に対し33,037人と、目標を達成できなかったが、学校の長期休暇期間中、平日のグラウンド空き状況について、各校野球部に連絡を行い、利用者数の増加を図った。

※評価の項目「1」の評価： 「A」→ 業務計画を順調に実施し、特に優れた実績を上げている。
「B」→ 業務計画を順調に実施している。
「C」→ 業務計画を十分には実施できていない。
「D」→ 業務計画の実施に向けて、大きな改善を要する。

※評価の項目「2」「3」の評価： 「A」→ 当初の目標を達成し、特に優れた実績を上げている。
「B」→ 当初の目標を達成している。
「C」→ 当初の目標を十分には達成できていない。
「D」→ 当初の目標を達成できず、大きな改善を要する。

総括的な評価	・練習・大会等の利用について、その規模により円滑な運営を支援するために、特別開場や利用時間の前倒し、あるいは日没までの時間延長など、可能な限り利用者の要望に応じた対応を行った。 ・雨天後は職員によりレイキ車を用いた内野グラウンド及び外野ウォーニングゾーンの整備を実施し、良好なグラウンドコンディションを保つよう努めた。また、毎日の見回りや点検を行い、必要に応じて修繕等を行うことで、施設全般の維持管理に努めた。 ・当球場は県内で唯一の県営野球場であり、一般財団法人三重県高等学校野球連盟をはじめとした野球関係団体の利用で土日及び祝日は殆ど大会で使用している。そのため、良好なグラウンド状態を保つため、定期的な芝生のメンテナンスや不陸修正工事・芝養生を行った。 ・ドリームオーシャンスタジアム・フェスティバル2024を2日間開催し、1日目は松阪地区の15中学校の軟式野球部を対象とした野球教室を行った。2日目は野球場を無料開放し、スポーツレクリエーションが体験できる場を提供した。
--------	--